

2026（令和8）年度事業計画

今年度は、教育交流派遣事業・支援事業・受入事業・研究等助成事業について、当初の計画通り実行に移すことができました。中国宋慶齡基金会との「日中教育交流プロジェクト」の推進のために、視察研修訪中団の派遣を行いました。それによって、阜平県の教育視察を行い、県政府・県党委員会・県教育体育局との話し合いも持て、今後の教育交流派遣・受入れ・支援事業の具体的な打ち合わせを行うことができました。今後も、さらに強力に「草の根教育交流」をより深く多様に発展させることを目指して、取り組みを進めて行きたいと考えています。また、過去10回にわたって積み上げてきた中国人留学生と日本の教職員家庭との友好を深める「日中教育交流ホームステイ」事業や、日中の友好・相互理解の輪をも広げて8回の成果を積み上げてきた「日中教育文化交流シンポジウム」、さらには、「田中一郎記念奨学基金」の事業として行った、「第2回田中一郎記念奨学基金日本語作文コンクール」を、今後もしっかりと取り組んでいきたいと考えています。今年度の事業の成果や課題、意義をきちんと踏まえる中で、これらの取り組みをさらに発展させていきたいと思います。

協会の持続可能な活動を発展させるため、2026（令和8）年度は下記の教育交流事業を推進します。

1. 教育交流・派遣事業

- ① 「新たな教育交流プロジェクト（河北省保定市阜平県との教育交流）」の実施内容を、中国側の重要なパートナーである中国宋慶齡基金会との協議の中で行います。
- ② 「新たな教育交流プロジェクト（河北省保定市阜平県との教育交流）」の実施内容を決定し速やかな実施を図るために、「第18次教育訪中団」「第4回日中音楽教育交流会」の派遣に向けて準備を進めます。

2. 教育交流・受入事業

- ① 第6次宋慶齡基金会教育交流代表団の受け入れを行います。
- ② 中国教育国際交流協会、中国宋慶齡基金会、教育工会及びその他の教育諸団体が派遣する団体との教育交流、及び学校参観などの受入れ手配等を行います。

3. 教育交流・支援事業

- ① 6年次となる教育交流支援を、「新たな教育交流プロジェクト（河北省保定市阜平県との教育交流）」のもとに行います。

4. 教育交流・研究等助成事業

- ① 第11回教育交流ホームステイを実施します。
- ② 第3回田中一郎記念奨学基金日本語作文コンクールを実施します。
- ③ 第9回日中教育文化交流シンポジウムを開催します。
- ④ 第22回日本語作文コンクール（日本僑報社・日中交流研究所主催）の後援を継続します。

5. 機関運営などに関して

- ① 理事会、評議員会を年2回、監査委員会を年1回、各委員会、事務局会を随時行います。
- ② 年会報33号を発行します。また、『共生力』を随時発行します。ホームページの充実を図ります。
- ③ 事業推進に関する理解を図りながら会員を拡大し、よって財政基盤の確立を図るために、引き続き組織的な取り組みを進めます。
- ④ 財団の将来へ向けての在り方を検討するために、専門委員会を設置します。